項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	表在性食道癌に対する ESD 先行予防的化学放射線療法と化学放射線療法の比較検討
	研究対象者	2022 年 4 月～2026 年 8 月までに cStage I の食道扁平上皮癌に対して粘膜下層剥離術(ESD)が行われ、追加で化学放射線療法や、最初から化学放射線療法を行った患者さん
	研究目的	臨床病期 I 期の食道がんに対する「化学放射線療法（放射線と抗がん剤を組み合わせた治療：60 Gy)」は、手術をせずに食道を温存できる優れた治療法です。しかし、放射線の量が多いことから、治療中に強い食道炎や食道の痛み（痛みに伴うお薬の使用など）が生じやすく、生活の質（QOL）に影響を与える点が課題となっています。一方、あらかじめ内視鏡治療（ESD：内視鏡的粘膜下層剥離術）で病変を切除した後に予防的な放射線治療を行う場合（ESD＋予防的化学放射線療法)、照射する放射線の量を減らす（41.4 Gy）ことができます。本研究では、内視鏡治療を先行して放射線量を減らすことが、実際の診療において患者さんの食道炎や疼痛（痛みの軽減）などの副作用をどの程度改善できているかを明らかにすることを目的としています。
	研究方法	本研究は、診療録などの既存の情報のみを用いた、単施設で行う観察研究です。当院に保管されている対象患者さんの診療情報（診療録、内視鏡画像・所見記録、病理所見）を収集し、検討を行います。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが､氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦２０２６年１１月２日～西暦２０２９年３月３１日
	利用又は提供を開始する時期	[✔]総長が研究実施を許可した日 [__] 西暦　　年　　月　　日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[__]試料:	[__]血漿、[__]血清、[__]全血、[__]末梢血から抽出した DNA、 [__]病理検体(具体的に記載:_____)、 [__]尿、[__]糞便、[__]唾液、[__]胸水、[__]腹水、[__]脳脊髄液、 [__]毛髪、[__]その他(具体的に記載:_____)
	[✔]情報:	[✔]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✔]年齢、[ ] 生年月日、[✔]性別、[✔]既往歴、[✔]併存疾患、[✔]外来日・入院日・退院日、[✔]臨床検査値、[✔]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✔]臨床所見・経過（予後追跡データを含む)、[__] ゲノムデータ、[__]看護記録、[__]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名　消化器内科（内視鏡）　滝沢　耕平
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・消化器内科（内視鏡） 塩月　一生・045-520-2222(代表) 利用停止のお申し出は 2027 年 3 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります